

令和2年9月期子牛セリ市結果

JAえびの市管内	今回(2年9月)		前回(2年8月)			前年(元年9月)		
	頭数	平均価格	頭数	平均価格	増減	頭数	平均価格	増減
メス	76	649,101	81	650,738	△1,637	76	738,563	△89,462
去勢	107	765,579	113	743,094	22,485	104	853,345	△87,766
計	183	717,206	194	704,533	12,673	180	804,882	△87,676

◎畜産関係◎

☆9月期子牛セリ結果

9月19日(22日)までの3日間、西諸畜連で、9月期子牛セリ市が開催されました。成績は表の通りです。子牛セリ市終了後の事故が多発しています。生産者の皆さんは解約や値引き等発生しないように、飼養管理には充分注意してください。子牛生産検査以降に発生したケガや尿石等の事故、その他小さなことでも気付いた点は、担当者に相談するか、またはセリ市上場時に必ず発表するようにお願いします。

去勢子牛で発育の良いものは早期出荷を行い、飼育費の削減を図り所得の向上に努めましょう。雌子牛については、積極的に品評会に出品し、付加価値の高い優良素牛生産に努めましょう。

各種導入事業の有効活用を図り優良雌子牛を導入し、母牛の増頭、更新を積極的に行いましょう。詳しいことは畜産課(☎33-5747)までお問い合わせください。

☆9月期JA主催子牛品評

9月10日、JA畜産センターで、9月期子牛品評会を開催しました。成績は、別表のとおりです。(敬称略)JA品評会については、事前に下見をします。出品希望のある方は畜

産課までお問い合わせください。

☆9月期郡子牛品評会

9月14日、西諸畜連で郡子牛品評会が開催されました。JAえびの市管内から6頭が出品されました。成績は別表のとおりです。(敬称略)



JA主催子牛品評会



大竹さん「さな号」

令和2年9月期JA子牛品評会成績

	名	号	出品者(敬称略)
優等賞	さ	な	大竹 勝美
壹等賞1席	え	り	中村 友哉
壹等賞2席	し	おん 3 1	拂田 慶一郎
壺等賞	つ	ば	日高 将也
〃	り	こ	塩屋 大吾
〃	い	ち	塩屋 大吾
弐等賞	ば	に	塩屋 大吾
〃	ひ	な	新天寺 守
〃	ひ	で	森屋 要
〃	ゆ	う	盛田 美次

※序列が付いているのは壺等賞の2席までです

令和2年9月期郡子牛品評会成績

	名	号	出品者(敬称略)
優等賞7席	さ	な	大竹 勝美
壺等賞	え	り	中村 友哉
〃	し	おん 3 1	拂田 慶一郎
弐等賞	つ	ば	日高 将也
〃	り	こ	塩屋 大吾
〃	い	ち	塩屋 大吾

※壺等賞・弐等賞は、序列は付けてありません

JAえびの市は、人権啓発推進事業に取り組んでいます。

台風対策について

1. 事前の対策

- (1) 畜産施設は、損傷、倒壊等为了避免のため、必要に応じて補修を行ってください。
- (2) 大雨による畜産施設への浸水のおそれがある場合、明きよの施工等により排水に努めてください。また、畜舎への浸水等により家畜への被害が生じる恐れがある場合には、事前に避難場所を確認し、状況に応じて家畜を避難させる等の適切な処置を行ってください。
- (3) あらかじめ停電や断水等に対応できるよう、自家発電機等を整備されることをお勧めします。
- (4) 飼料・燃料などについては、不測の事態を考慮し、家畜を少なくとも1週間以上飼養するために必要な分量を最低在庫量として維持するよう、計画的な生産や購入に努めてください。また、保管場所については、浸水等のリスクも考慮して分散して保管する等の工夫もお願いします。
- (5) 飲水用の貯留タンクの設置やくみ上げポンプを準備するなどの事前の対応も行ってください。

2. 被害拡大防止のための対策

(1) 飼料作物および稲わら

- ア 冠水や浸水等の被害を受けたほ場においては、速やかな排水に努めてください。
- イ 収穫期にある飼料作物は、天候の回復後に収穫を行うよう努めてください。また品質確保のため調整法や時期についても、例えば乾草からサイレージに切り替えるなど臨機応変な対応を行うよう努めてください。
- ウ とうもろこし等の長大作物については、台風等に当たると予想される場合、糊熟期以降であれば、収穫適期に達していなくても、被害軽減のために収穫作業を一部前倒しして開始することも検討してください。
- エ 稲わらの収穫を行う場合は、天候の回復後、速やかにほ場から搬出して乾燥に努めるとともに、付着した土汚れ等を除去した上で飼料に用いるよう努めてください。

(2) 畜産施設及び家畜

- ア 天候が回復した後、直ちに畜産施設内およびその周辺の排水を行うよう努めてください。また、土砂が流入した場合には、再度の土砂流入等の事故に十分注意しつつ、土砂を除去するよう努めてください。
- イ 畜舎、牧柵、防鳥ネット等の施設に破損、汚染がないか確認し、必要に応じて補修、洗浄、消毒を行うよう努めてください。飲水に適した水の確保や飼養家畜の健康観察など、家畜の伝染性疾病の発生予防措置を講じるよう努めてください。
- ウ 養分の低下した飼料作物や品質の低下した濃厚飼料の給与をする場合にあっては、栄養価、嗜好性等にも配慮し、家畜の生産性が低下することのないよう注意してください。

3. 事後対策

- (1) 浸水した畜舎は、台風通過後速やかに消毒してください。
- (2) 敷料が濡れた場合は、速やかに乾いたものと交換してください。
- (3) 台風通過後は、急激に気温が上昇することがあるので、畜舎を開放する等換気対策を行ってください。



営農情報

☆イチゴ

(担当：山下賢太)



加温機稼動前の防除徹底！

☆マルチ被覆

1. マルチ被覆は、定植14日後から出蓄する前までに行う。
2. 天候の安定する時期を選び、マルチ被覆を行う。(高温に注意する)
3. マルチ被覆前の摘葉は行わず傷が来ないようにする。
4. マルチ被覆後は、蒸れると株枯れ助長するため、蒸れないよう注意する(すそはあげておく)。
5. マルチの穴はやや大きくあけ、温度上昇を抑制する(定植後の株枯れ対策)
6. 畦肩の乾燥に注意する。

☆ジベレリン処理(さがほのか)

1. 第一果房はジベレリンの効果が出にくいので、処理時期、処理濃度、処理量を厳守する。

2. ジベ処理の注意事項

- ア、処理前は灌水を行う。(湿度を保つ)
- イ、出来るだけ天気の良い日の夕方または朝方に行う。
- ウ、水は水道水を使い、株の中心部に処理する。

3. ジベ処理の方法
出蓄始め10ppm処理

◎園芸関係◎

(水10Lにジベレリン粉末0.1g)
※加温機掃除・花出し準備・ソーラインに張り・ホリバー10aあたり100枚(黄色・青色)

4. 追肥
1ヶ月にN成分で1.5〜2kgを4回に分けて行う。

☆栗

(担当：朝倉章太)



栗の収穫が終わったら、お礼肥を施用しましょう。着果が多い少ないに関わらず、必ず追肥をしてください。お礼肥は年間施用量の30%が必要になるので、燐硝安加里S811を(10a当たり20kg)樹冠部分に施用してください。台風の影響により枝折れや落果があったと思いますが、これらを放置すると病害虫の発生源となりますので園外へ持ち出し、園内清掃を行いましょ。

☆キンカン

(担当：朝倉章太)



10月はビニール被覆の時期となります。果実の肥大を促進させるため、夜温は18〜20℃に設定しましょう。果実肥大期には7〜10日間隔で10t/10a程度の灌水を行ってください。養分の競合を避けるために傷果や新梢は取り除き、園内に

ある枯れ枝等は全て園外へ持ち出しましょう。ビニール被覆後はハウス内の高温に注意して日焼け果・ス上がり果にならないように管理し、ハダニの発生にも注意しましょう。

☆生姜

(担当：梅木晶仁)



根茎肥大期となっています。土壌中から地表に根が露出しているものが増えてきますので、定期的(2cm程度)土をかぶせてください。

アワノメイガや紋枯病の予防のため、パダンSG顆粒水和剤+ダコニール1000の散布を行います。根茎腐敗病が確認された場合については、速やかに株を抜き取り、周辺の土も取り除いてください。

☆ピーマン

(担当：山下陽平)



夜間のハウス内温度が16℃を下回らないように注意し、内張りビニールの準備やサイド・裭ビニールの開閉作業による温度管理を行いましょ。

10月10日頃に開花したものは40〜42日程度で収穫となりますが、収穫終了予定時期から逆算してどの花まで獲るかを考えて草勢管理を行っていきましょう。主枝と側枝の管理が収量増加に繋がりますので、生長点付近が混み合ったり樹高が高くなりすぎないように主枝は程よく摘芯し、側枝も2〜3節の摘芯・捻枝を心掛けて着果および果実肥大を促進させましょ。

病害虫は、黒枯れ病、斑点病、ハスモンヨトウの発生が多く見られますので、早期かつ定期的な防除を心掛けましょ。なお、次作の準備の為、11月13日(金)までに土壌分析用の土の提出をお願いします。

☆ゴーヤー

(担当：中村真吾)



葉や果実に光が良く当たるように、つるや葉を整理し、追肥と灌水で果実の肥大を促進させましょ。また、事故品がでないように選果選別に努めて出荷を行ないましょ。次年度に向けてゴーヤーの作付けをされたい方はJAえびの市農産園芸課(担当：中村真吾)までご連絡ください。

☆菊

(担当：朝倉章太)



気温の低下する時期です。施設ビニールの被覆、暖房機の点検を行ってください。年末電照キク(12月)は消灯の時期になりますので、白サビ病の発生に注意してください。再電照は消灯後13日目としていますが、栽培条件によって異なりますので、花芽検鏡を行うようにましょ。

☆ランタンキュラス

(担当：朝倉章太)



定植の時期となります。芽出し管理と順化を計画的に行い、活着の良い初期生育を目指しましょう。芽出しは10℃で5〜7日の期間で行い、芽の長さは3〜5cmになるように管理をしましょう。冷蔵庫の中で芽が伸びすぎると出庫後に芽が腐敗しやすくなるので注意してください。

順化は夕方涼しい時間帯に冷蔵庫から出庫し、風通しのよい涼しい所で5日間程度外気に慣れさせます。

本圃では定植10日前から寒冷紗(遮光率40〜50%)を張り、ハウス内の地温を下げておきましょう。西日を避ける張り方をし、定植後も2週間程度は張っておきましょう。

定植2日前までに十分に灌水を行い、地温を下げるともに土壌水分を確保しておきましょう。

定植は深植えにならないよう注意し、根は地上部に出ないようにふく土をします。また、定植作業中に根を乾燥させないように注意しましょう。定植後は根締めめの灌水をたっぷり行い、定植後1週間は手灌水を行うようにしましょう。ハウスはサイドを開放して出来るだけハウス内を涼しく保ち、循環扇等を利用してハウス内の空気を循環させると良いでしょう。昼温は15℃を目標に管理しましょう。

☆キヤベツ

(担当：山下陽平)



本葉20枚前後の結球開始頃が2回目の追肥の目安となります。草勢を見ながらNK2号を20kg/10a程度を目安に施肥してください。

秋雨前線や台風による大雨も懸念されますので、事前の排水対策をしっかりと行ってください。圃場が広い場合は排水性を考慮して長畝にせず、30mごとに区切って排水路を作るなどの対策を行ってください。

事後対策としては葉面散布(尿素と鮮緑それぞれの500倍液を混用)による草勢回復に努めてください。病害対策としては銅剤を中心としますが、間に異なる成分のものを使用するなどして定期的な予防除心を心がけましょう。害虫はコナガの他にハスモンヨトウの発生も多くなりますので、早期防除に努めましょう。

施肥基準	kg/10a		
	総量	元肥	追肥
堆肥	2,000		
窒素	20	12	8
リン酸	25	17	8
加里	20	12	8

☆カボチャ

(担当：古里核香)



腐敗防止や着色不良防止のために、必ずカボチャシートを敷くようにしましょう。果実のサイズや重みによってはカボチャシートがつぶれて着色不良が生じる可能性がありますので、果実の付け根部分に十分注意しながら玉直しを行いましょ。

日焼け果の発生は品質を下げますので、新聞紙や藁を被せて防除に努めましょう。

収穫については、果実の付け根部分の亀裂が7割から8割以上入ったところから収穫を始めましょう。

☆白ネギ

(担当：古里核香)



日中の気温も下がり始めましたので、軟白長を確保するために積極的な土寄せを行いましょう。土寄せは新しい葉の付け根部分から5cm程度の所までを目安として、土を上げ過ぎないように注意しながら行いましょう。土寄せを行う直前には必ず追肥を行い、ネギの太さも確保できるようにしましょう。

土寄せ後はダコニール1000、アミスター20フロアブル等を使用して防除に努め、更に排水対策も継続して行いましょう。

☆里芋

(担当：梅木晶仁)



収穫が終了した圃場では次年度

の疫病対策のため、親芋等の持ち出しを行ないましょう。圃場に残った残渣は堆肥や分解資材を投入し、数回のロータリーがけを行って分解を促しましょう。また、圃場周辺の野良芋の除去も行なうようにしましょう。

分解資材

- 分解ヘルパー631
- 30kg/45kg/10a
- 分解ヘルパー331
- 45kg/60kg/10a

☆加工ほうれん草

(担当：中村真吾)



ほうれん草の作付けが始まりました。播種前の排水対策をしつかり行い、水がたまらないような圃場準備を行いましょう。発芽後の立ち枯れ病とハスモンヨトウの被害に注意し管理を行いましょ。

☆秋作加工大根

(担当：梅木晶仁)



加工大根は、播種が終了し本葉が5〜6枚になれば土寄せや追肥の時期になってきます。追肥は燐硝安加里S604を20kg/10a程度施肥してください。

☆加工人参

(担当：梅木晶仁)



病害虫等の発生初期を見逃さな

営農情報

◎園芸関係 ◎農産関係

いよう、定期的に圃場確認をお願いいたします。茎葉が茂り通路がふさがる前に、圃場の排水と青首防止を兼ねて土寄せを行ってください。

☆加工甘藷

(担当：梅木晶仁)

収穫期を迎えます。出荷時に害虫の被害が多いと返品の対象となりますので、収穫遅れや病害虫被害の芋がないように計画的な早めの収穫を心がけてください。

えびの市内でも基腐病の発病が確認されています。この病気は被害の拡大が早いので定期的に圃場の見回りを行います。発生株については圃場から抜き取り、拡大防止のためZボルドー(500倍)の散布を行ってください。

☆玉ねぎ

(担当：中村真吾)

11月中旬より定植時期となります。定植適期の11月15日～25日頃までに作付けが終えられるよう、堆肥の投入からマルチ張りまでの計画的な圃場準備を行きましょう。

稲収穫後の稲株は、草刈機等で短く刈り取り、耕運も複数回行って稲株の分解を促すようにしましょう。病気の発生を軽減するために、圃場内に排水溝を設置し、



水が溜まらないように排水対策を行きましょう。

各品目の栽培のお申し込み・お問い合わせはJAえびの市農産園芸課(☎3315756)までご連絡ください。

☆大豆

(担当：内村直樹)

子実肥大期を迎えています。大豆は莢(さや)の伸長期に、子実肥大期に害虫などによって被害・被害を受けると莢が落ちてしまい、栄養分を蓄えるタンク(実)がなくなるため、莖葉部がいつまでも枯れ上がらない青立ち状態となってしまう。青立ち状態のままコンバインで収穫すると汚損粒の原因となりますので主要害虫の防除を行います。

◎病害虫の防除について

カメムシ

・トレボン乳剤 1000倍

100L～300L / 10a
本剤の使用回数 2回以内
収穫14日前まで使用可

ハスモンヨトウ

・ノーモルト乳剤 2000倍

100L～300L / 10a
本剤の使用回数 2回以内

収穫14日前まで使用可

・フェニックス顆粒水和剤 2000倍

100L～300L / 10a
本剤の使用回数 3回以内
(老齢幼虫が多い場合はこちらがお勧めです)

収穫7日前まで使用可

紫斑病

・アミスター20フロアブル

2000倍～3000倍

100L～300L / 10a
本剤の使用回数 2回以内
収穫7日前まで使用可

収穫時期の目安は、落葉して大部分の莢が褐色になり、莖を振るとカラカラと音がするようになつた時です。収穫が早すぎると、乾燥に時間がかかるとともに汚粒やしわ粒が発生しやすくなります。また、反対に収穫が遅れると、自然裂莢(莢がはじけること)や、降雨による腐敗粒が発生しやすくなります。

これから登熟が進むと倒伏が発生する可能性があります。地面に触れるまで倒伏してしまうと汚粒や腐敗粒等の発生・混入が高くなりますので倒伏した大豆については別に収穫するなどして品質が低下するのを防ぎましょう。

刈払い機など手作業で収穫する場合は、莖の振動による裂莢を少なくするため、水分のやや高い早朝か夕方頃に行います。

☆そば

(担当：内村直樹)

そばは収穫時期が早いと未熟粒が多く、遅れると脱粒し収量が減る可能性が高くなりますので、適期の収穫を行きましょう。

刈払い機など手作業で収穫する場合の適期は、子実が70～80%黒変した頃です。振動による脱粒を少なくするため、朝露のあるうちや夕方、または曇天の日等、やや湿度の高い時間帯に行います。

専用コンバインで収穫する場合は、葉が全て落葉するくらい成熟していないと、機械内に莖、葉が詰まって円滑な作業に支障をきたします。脱粒のリスタクもあります。成熟度を確認した上で収穫時期を判断してください。

そばの防除につきましては、登録農薬が非常に少ない品目ですので、防除の際は必ず登録農薬であるかの確認、もしくはお問い合わせをお願いいたします。

※水分計測につきましては、そば、大豆ともにJA各ライスセンターにて行っています。お気軽にお尋ねください。

第16回えびの市米・食味コンクール出品者募集

えびの市では、全国に負けない米産地を目指し、「安全・安心・信頼」のおける美味しい「えびの産米」の生産・技術・品質の向上を図ることを目的として、「第16回えびの市米・食味コンクール」を開催します。皆さんの自慢の「ヒノヒカリ」「にこまる」をぜひ出品してください。

※今年は新型コロナウイルスの感染・拡大防止のため、食味計測値および農産物検査員の評定により順位を決定することとし、例年行っている実食の審査は行いません。

【出品の参加資格】

えびの市農業再生協議会の有する令和2年度営農計画書に名義のある米生産者が、市内で生産した米を対象とします。 ※審査データの公表に同意できる人のみ

【評価部門】 ヒノヒカリの部・にこまるの部・団体の部・小学校の部

【出品品種】 「ヒノヒカリ」および「にこまる」※出品数は1経営体につき各品種1点のみとします。

【申込期限】 令和2年10月30日（金）

【出品方法】 JA各ライスセンター、農産園芸課またはえびの市畜産農政課で配布している指定の米袋に必要事項を記入し、玄米1.5kgまたはモミ2kgを入れ、水稻生産履歴を添えて提出してください。提出場所は、JA各ライスセンター、農産園芸課またはえびの市畜産農政課です。

【参加料】 無料

【その他】 出品された方には、後日食味計測結果と参加賞を配布します。
出品点数が自治会内で5点以上あった場合は団体賞の対象となり、上位5点の平均が最も優れた団体を表彰対象とします。
個人の部のヒノヒカリ部門成績上位者は、宮崎県食味コンクールの出品候補となります。

お問い合わせ先
えびの市農業協同組合 農産園芸課 33 - 5756
えびの市畜産農政課 農産園芸係 35 - 1111 (内線226)

営農情報

◎担い手支援関係◎

稲刈り作業の申込み受付中です！

いよいよ『実りの秋』が近づいてまいりました！

(株)JAアグリランド田の神さあでは稲刈り作業の申し込みを受け付けています。お気軽にご相談ください。

稲刈りシーズン直前での申し込みについてはお受けできない場合があります。早めのご相談をお願いします。また、天候によって予定通り作業が行えない場合がございますので、ご了承ください。

○作業料金は「令和2年度 JAえびの市農業機械銀行農作業料金表」に準じます。

※稲刈り作業等、作業料金に変更があります。ご不明な点がございましたら、アグリランド田の神さあ(☎33-0111)までお気軽にお尋ねください。

○稲わら作業(反転集草・梱包)、畦塗り、堆肥散布等についても随時受け付けています。

お申し込み・お問い合わせ先

(株)JAアグリランド田の神さあ(☎33-0111)またはJAの各事業所まで

—丁寧な作業をお約束!—

(株)JAアグリランド田の神さあ

えびの市大字原田2206番地(旧JA飯野駅前農業倉庫事務所跡)

自脱コンバインの事故に関する 安全対策のポイント

[都道府県事故情報(平成22年4月～23年3月)詳細分析結果]

①後進時は、より慎重に運転しましょう！

コンバインの事故で最も多いのが、**転落・転倒事故**です。特に、**後進時**に事故が多く発生する傾向があります！

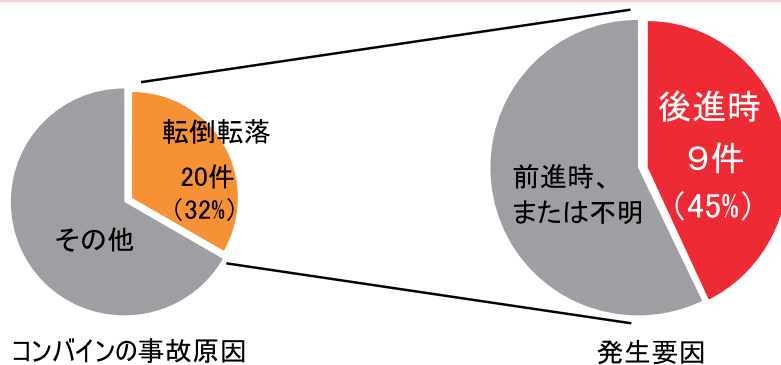
- 畦畝や路面の凸凹等による転倒・転落事故に十分注意しましょう。
- 補助作業者は、コンバインの死角での作業に十分注意しましょう。

進行方向の安全を十分に確認し無理のない運転をしましょう。



○コンバインの転落・転倒による死傷事故

転落・転倒事故20件のうち、少なくとも9件は**後進時**に発生！



②納屋等からの出入り時は、十分注意しましょう！

コンバインの挟まれ事故は、納屋等からの出入り時に梁と挟まれることによっても多く発生しています

狭い場所での作業は、補助作業者と声かけや合図を決めておく等、周囲の安全を確認しながら作業を行いましょう。
また、作業者自身も前方不注意などには十分気をつけましょう！



③巻き込まれによる負傷事故に注意しましょう！

コンバイン巻き込まれ事故は、**点検整備・清掃中**に多く発生しています！
そのうち、**エンジン非停止**が事故要因となるケースが多い状況です。

点検整備・清掃作業では、エンジンを停止しましょう。
手こぎ作業は、適切な服装で機体の内側に手を入れないようにしましょう。

点検整備・清掃時...

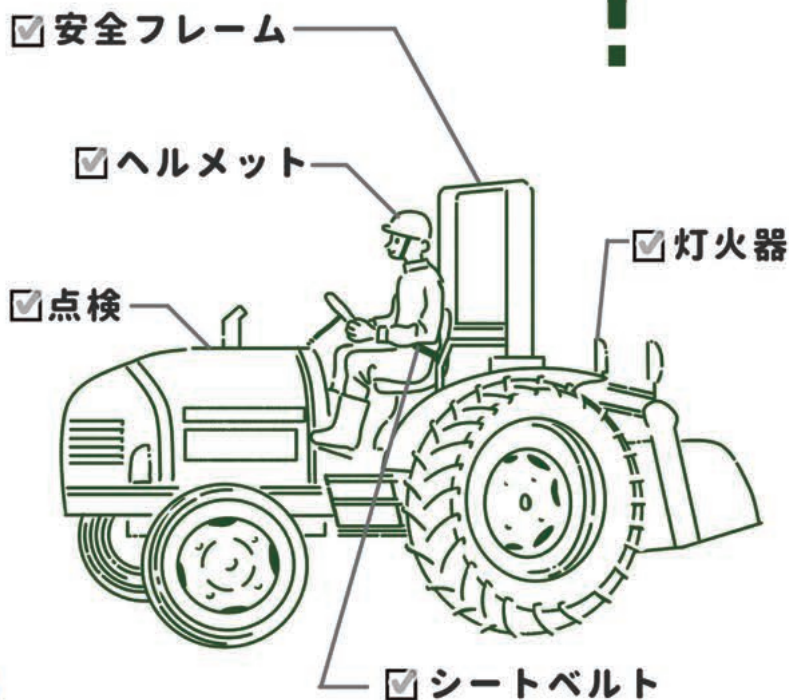


安全対策

農業機械作業の

見直そう！

◆農業による死亡事故は年間約300件発生しています。



日常的にチェックする習慣をつけましょう。

デザイン/2020年農作業安全ポスターデザインコンテスト 農林水産大臣賞 北海道 伊藤 沙智

2020年 秋の農作業安全月間



イラストは、農林水産省の許諾を得て使用しています。

